

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター
平成30年度事業報告書

(第16期：平成30年6月1日より令和元年5月31日まで)

<目次>

- 平成30年度事業の方針
- 平成30年度所信

I 全体の概要

II 運営について

1. 諸会議の開催状況（※詳細は資料1 諸会議の開催状況を参照）
2. 財政の状況について（※詳細は資料2 決算書を参照）
3. 事業・会務・事務局等の運営全般について（※詳細は資料3 定款、資料4 諸規定を参照）
4. 資産の取得、機器の更新等について

III 個別に行った事業について

1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- －(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- －(2) その解決のための事業

1-(1)-1 三重県の各種取り組みへの参画

1-(1)-2 地域課題の発見と解決を意識した各種団体・講座等への参加

1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携「桑名員弁地域円卓会議」

1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

1-(2)-4 桑名市市民活動センターの協働運営支援

2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- －(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- －(4) その市民活動への応援事業

2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

2-(4)-1 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2-(4)-2 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

2-(4)-3 各種講座への講師派遣

2-(4)-4 前掲以外の市民活動への支援

2-(4)-5 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- －(5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- －(6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

■ 平成30年度事業の方針

- (方針1)「市民活動を支援する事業を行う」
- (方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」
- (方針3)「市民活動支援のしくみを充実させる」
- (方針4)「低コストで運営を行う」
- (方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」

■ 平成30年度所信

今年度は認定更新の年であり、継続して認定が受けられるよう準備を行います。

昨年から学習会を開いて学んできた休眠預金活用制度は、5月に指定活用団体の公募が始まり、いよいよ動き出した感がありますが、地方の弱小団体まで支援が行き届かないような内容になってきたようです。今後この動きを積極的にリサーチして、域内の団体に少しでも支援が届く道を今後も探っていきます。

また、他の資金調達の方法として、遺贈やふるさと納税などについても研究し、新たな資金調達の方法を提供していくことに心がけます。

さて、地方の現場では、『個人の自由な意志によってさまざまにつながりながら、「非営利経済」で人々に必要なサービスを提供していく』市民活動が、人々の暮らしを支える社会的機能を果たしています。

「個人の自由な社会貢献活動」が「多様」に「持続的」に行われ、さまざまな主体と結びついて活動していくことで、更なる非営利経済の「資金・資源」の循環を生みだし、「新たな可能性」をひらき、「新しい価値の創造」へと展開していくことも、容易に想像できます。

私たちは、これまで取り組んできた「市民活動の応援」を進め、「市民活動応援☆きらきら基金」をより充実させていくことで、市民活動団体間の「資金・資源」の循環を増やし、企業や他地域からの新たな資源の流入をつくりだしていきたいと思えます。これらの取り組みにより、「新たな可能性」「新たな価値観」「新たなサービス」が生み出され、この地域での人々の生活がより魅力的になることを願っています。

つきましては、皆様の一層のご理解、ご参画、ご協力を心よりお願い申し上げます。

平成30年度事業計画書

前述の事業の方針ならびに所信にもとづき、以下のように事業を進めていきます。

1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- －(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- －(2) その解決のための事業

1-(1)-1 三重県の各種取り組みへの参画

1-(1)-2 地域課題の発見と解決を意識した各種団体・講座等への参加

1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携「桑名員弁地域円卓会議」

1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

1-(2)-4 桑名市市民活動センターの協働運営支援

2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- －(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- －(4) その市民活動への応援事業

2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

2-(4)-1 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2-(4)-2 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

2-(4)-3 各種講座への講師派遣

2-(4)-4 前掲以外の市民活動への支援

2-(4)-5 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- －(5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- －(6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

I 全体の概要

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センターは、平成16年4月法人登記をして設立しました。決算期の関係で第1期は2ヶ月であり、今期(第16期)は実質的にまる15年が終了する時期になります。また今期は、設立から第4期までつとめた郷司理事長を経て、第5期から14期の途中までつとめた故服部理事長に代わり、近藤理事長となって2年7か月経ちました。また、平成26年3月24日より、小笠原理事長と郷司理事長が加わり、同年3月31日から認定NPO法人として、3人の理事長による複数代表の運営体制の実質的な5年目が終了したことになります。

NPO界の状況としては、休眠預金活用制度の指定活用団体が一般財団法人日本民間公益活動連携機構に決まり、6月3日から「資金分配団体」の公募が始まりました。9月末ごろには決定、10~12月実行団体の公募実施、実際に各団体に助成が実施されるのは3月頃の予定ですが、かなりハードルが高くなりそうです。今後も積極的にリサーチして、域内の団体に少しでも支援が届く道を今後も探っていきます。

さて、当期の当会の事業の方針は、(方針1)「市民活動を支援する事業を行う」、(方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」、(方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」、(方針4)「低コストで運営を行う」、(方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」というものでした。

まず(方針1)「市民活動を支援する事業を行う」については、まちのファンクラブの事務局を担い、桑名市、いなべ市、東員町の市民活動交流会に参加しました。また、折に触れてさまざまな市民活動に関わる団体への具体的な支援、助言などを行い、市民活動についての情報の提供を継続的に行いました。さらに、みえ市民活動ボランティアセンター主催の第2回三重NPOグランプリに参加するよう積極的に声をかけました。

(方針2)「会員の提案を事業の形にしていく」については、昨年度川戸理事が提案した休眠預金活用制度についての学習会を、今期も継続して行いました。また、高校生の地域貢献活動への助成についても、継続して行いました。

(方針3)「市民活動支援のしくみづくりを行う」では、みえNPOネットワークセンターの経営会議に近藤理事長が参画しました。12月のNPO月間の三重NPOグランプリで地区予選を実施し、本選の運営サポートもしました。みえきた市民活動センターとしては、域内の団体と協働してきらきら基金を運営し、9団体4事業、2高校に、合計33万円を助成しました。並行して、地域の市民活動団体訪問調査、まちのかわらばんの発行をしました。また、桑名市市民活動センター運営支援業務を昨年引き続き受託しました。その他、各種の勉強会、講習会等に参加し、研究を進めました。

(方針4)「低コストで運営を行う」では、寄附金と、みえNPOネットワークセンター関連事業収入などで145万円ほどの収入があり、支出は166万円ほどでした。認定NPO法人の見なし寄附で所得税が控除され、地方税を引いて、29万円ほどの赤字となりました。そのうち、助成の原資と運営に用途限定している寄附金を78万円ほど繰り越しました。

(方針5)「認定NPO法人制度を積極的に活用する」については、50個のカエル・こぶた&小熊の募金箱を、市民活動団体関係者や商店、桑名商工会議所女性部の皆さんなどにご協力いただき、期中に33口11万円を越える助成原資へのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

これらの取り組みについては、会員間の連絡を密にし、さまざま検討を行った上で、実施しました。

II 運営について

1. 諸会議の開催状況（*詳細は資料1 諸会議の開催状況を参照）

今年度は定例総会は1回（2018年7月23日）、理事会は8回（2018年7月6日、8月24日、9月18日、10月20日、2019年1月11日、2月19日、4月12日、5月20日）開催しました。その他に必要に応じて個別の会議を開催し、12回にわたって行ったきらきら基金運営委員会での機会や役員（理事・監事）メーリングリストなどを有効に活用して頻繁に「相談・提案・報告・了承」を行い、当会の全体状況の把握や進んでいる方向の確認、個別の事業のスタンスなどの情報を共有しました。

2. 財政の状況について（*詳細は資料2 決算書を参照）

基本的に「持ち寄り」で運営するのが当会の原則です。今期は、145万円ほどの収入があり、166万円ほどの支出がありました。このうち、寄附金収入が75万円強ありました。また、認定NPO法人であるため、事業収益21万円強の課税所得が見なし寄附で控除され、地方税7万円を引いた8万円強を非課税事業に繰り入れることができました。最終的に209万円強の次年度繰越金（使途限定寄附金を含む）を生むことが出来ました。前期末の正味資産額230万円ほどに、今期の-29万円を引いて、今期末の正味財産額は201万円となりました。そのうち、助成の原資と運営に使途限定している寄附金は79万円強あり、一般正味財産は122万円です。

経常収益では、非課税部門では、基本となる会費が11名で2.2万円、きらきら基金関連事業への寄付が26.4万円、そのうちきらきら基金助成原資への寄附が24.3万円、まちの課題の解決のための事業などへの寄附が49.1万円でした。また課税部門では、みえNPOネットワークセンター参画支援事業が14.5万円、桑名市市民活動センター運営支援事業が51.3万円でした。

経常費用では、経費的支出が166.9万円でした。非課税部門の支出は、きらきら基金の運営費が54万円と53万円の赤字、助成金支出が33万円と7.6万円の赤字、その他の事業では20.8万円の黒字で、非課税部門合計で39.8万円の赤字となりました。課税部門では、桑名市市民活動センター運営支援事業が、41万円の支出で10.2万円の黒字でした。その他事業で11万円ほどの収益があり、21.2万円ほどの黒字となり、みなし寄附制度により全額非課税となりました。

最初に記した通り、「持ち寄り」での運営が当会の基本であり、実際とても多くの持ち寄りをして支えていただいていたこの数字となっています。

3. 事業・会務・事務局等の運営全般について（*詳細は資料3 定款、資料4 諸規定を参照）

さまざまな事業を同時並行的かつ継続して行ったため、会務の役割分担は半数以上の理事がフルにうごきましたが、ITを活用してこまめに情報を共有することでお互いにカバーすることができました。

一連の事業について、きらきら基金事業の市民活動団体取材と助成事業、まちのかわらばんなどについて、理事たちの大きな負担となりました。また「みえNPOネットワークセンター」への支援についても、負担が少数の理事に集中しました。

あればあるように、なければないように、事務局運営も含め、運営全般について対応することができました。

4. 資産の取得、機器の更新等について

基本的に資産はありません。また、今期の資産の取得、機器の更新等もありません。具体的な資産の取得や機器の更新などに関する特記すべき事項はありませんでした。

Ⅲ 個別に行った事業について

1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

- －(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業
- －(2) その解決のための事業

- 1-(1)-1 三重県の各種取り組みへの参画
- 1-(1)-2 地域課題の発見と解決を意識した研究会、講座等への参加
- 1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画
- 1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携「桑名員弁地域円卓会議」
- 1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める
- 1-(2)-4 桑名市市民活動センターの協働運営支援

1-(1)-1 三重県の各種取り組みへの参画

今年度は、実施しませんでした。

1-(1)-2 地域課題の発見と解決を意識した研究会、講座等への参加

桑名員弁地域の市民活動団体が元気で活躍できるよう、市民活動支援全体の課題解決に向かって、各種の講座、研究会などに18回参加し、必要な情報の収集をしました。

具体的には、7月18日 税財源×NPO がひらく市民活動のフロンティア（東大手の会主催）、7月26日、8月25日、9月8日「社会的インパクト評価丸ごと研修」（愛知県主催、ボランティアネイバーズ企画運営）、8月18日 第6回みえNPO基金（仮）勉強会「コミュニティ財団の作り方～入門編～」岡山県から学ぶ、1から始める調査の方法～地域に必要とされる支援～（みえ市民活動ボランティアセンター主催）、9月15日、11月10日、12月15日、2月16日、3月23日、4月20日、5月18日「NPOカフェ」（いなべ市市民活動センター主催）、9月12日 NPO納涼会2018～セクター横断異業種交流会（東大手の会主催）10月16日 テーマ型募金（地域課題解決型募金）に係る説明会（三重県共同募金会主催）、10月30日「団体が成長できるプレゼンのコツ」セミナー（みえ市民活動ボランティアセンター主催）、11月22日「市民セクター全国会議2018」（日本NPOセンター主催）、1月26日 非営利組織のための「第三者組織評価」制度説明会・助成金セミナー（みえ市民活動ボランティアセンター主催）、5月21日 休眠預金活用制度公募説明会名古屋会場（JANPIA主催）に参加しました。

1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

今年度は、実施しませんでした。

1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携「桑名員弁地域円卓会議」

2018年7月19日、「第3回休眠預金活用制度学習会」の第2部討論会として、第9回桑名員弁地域円卓会議を開催しました。「NPO・市民活動を活発にする地域の基金」を議題に、地域における基金の役割や意義を再確認し、支援者を広げる方法などについて、意見交換を行いました。寄付やボランティア・プロボノなど、様々な形で活動に関わる人を増やすには、社会課題の解決に取り組むNPOや市民の活動の「価値」を示していかなければならない。NPO・市民活動を社会の中にどう位置付けていくか、ということが重要になる、という新たな課題が示されました。

1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

2019年2月9日、第11回助成事業の中で、1時間ほど、企業や経済団体など、経済関連の26の組織に企業の社会貢献活動の展示をしていただき、内3つの組織の皆さんに活動の内容を発表していただきました。これらの発表に三十三総研の先浦宏紀様から講評をいただきました。また、4企業にも社会貢献活動アピールをしていただきました。

展示26社（★印は発表☆印はアピール） ☆(株)デンソー大安製作所、★桑名市寺町通り商店街、三岐鉄道(株)、トヨタ車体(株)いなべ工場、東海労働金庫、☆(株)きもと三重工場、ケーエス、桑名三川商工会、(株)宮崎工務店、☆(株)アサプリー、☆(株)ほくせい、☆(株)ヴィアティン三重ファミリークラブ、★桑名商工会議所女性部、(株)金星堂、桑名工業(株)、☆(株)三重銀行、

桑名北ロータリークラブ、めがね工房 とうじ、★(株)百五銀行、(株)愛晃社、瑞宝産業(株)、(株)三五三重三重工場、東洋ゴム工業(株)桑名工場、(株)柿安本店、シグマファームとういん。

また、4月初めに発行した、まちのかわらばん2019年春特大号で、29企業・経済団体の社会貢献活動の取り組みを掲載し、市民活動団体と併せて紹介することができました。

1-(2)-4 桑名市市民活動センターの協働運営支援

5月から「桑名市市民活動センター運営支援業務」を委託し、協働運営支援を行いました。

具体的には、桑名市市民活動センターの運営を支援する協働運営委員会を中心に、毎月一回、会合を開催しました。必要な議事や意思決定を行う他、協働運営委員会間のコミュニケーションを円滑にし、お互いの持つ問題意識や解決手段、ネットワークの相互の有効活用に必要な信頼関係を培うため、また、新たな団体の参加を呼びかけるため、30分程度のミニワークショップを行いました。

相談業務（アドバイザー）では、子ども未来課より「子ども関連のNPOを立ち上げ、集う場を作りたい」という方の紹介があったので、NPO法人ネットワークくわっこの堀内千春さん、エンパワメントみえの志治優美さんが対応していただきました。12月9日に開催のこども食堂全国ツアーに参加され、地元で子ども食堂を始めたいとの相談があり、同じく参加したエンパワメントみえの志治優美さんが対応しました。

「第2回子ども分野交流会」を12月9日こども食堂全国ツアーの中の分科会として開催しました。

大手スーパーのイベントスペースで市民団体がイベントを実施できるように話をし、実際にいくつかの団体がイベントを開催しました。

市民活動団体の活動内容に関する積極的な情報発信として、情報誌「NPO活動 news」5回（7月、9月、11月、1月、3月）発行。また同時期に協働運営委員会のホームページの情報更新を行いました。

研修会・講座の企画・実施では、職員研修（新規採用職員対象）を10月2日にワークショップ形式で、生活者として気になるまちの問題を出し、問題解決に自分のストレングスを活用することを考える。講座を実施。職員研修（全職員対象）を11月7日午前、11月9日午後2回に分けて「全員参加のまちづくり」をテーマに実施しました。さらに、市民対象の人材育成講座として2月22日城南まちづくり拠点施設にて「つながる・広がる・地域の輪」テーマを実施しました。

2. 主として市民活動団体に対して行う事業

- －(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業
- －(4) その市民活動への応援事業

2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

2-(4)-1 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2-(4)-2 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

2-(4)-3 各種講座への講師派遣

2-(4)-4 前掲以外の市民活動への支援

2-(4)-5 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

2-(3)-1 桑名員弁地域の市民活動団体の訪問取材調査

今シーズンは、2018年6月より2019年3月までの間に、新たに6団体の訪問取材を行いました、活動休止の団体もあり、ホームページでの紹介は135団体になりました。代表の交代など、随時情報については更新してお知らせします。

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

桑名員弁地域で行政が行った市民活動の交流会に、まちのファンクラブの事務局として、またみえきた市民活動センターとして、きらきら基金のアピールと展示を中心に参加しました。

具体的には3つの交流会に参加しました。いなべ市市民活動センターが中心となって、6月16日、17日に阿下喜のさくらホールで「いなべ市市民活動交流会 スマイルフェスタ」が二日間にわけて実施されました。東員町では、9月22日に東員町総合文化センターで「わくわくフェスタ」を実施しました。桑名市では、3月16日にくわなメディアライブで、桑名市市民活動センターが「くわな市民活動フェスタ」を開催しました。前半はまちづくり助成金の報告会を自治会連合会と共に行い、後半は市民活動団体の展示、舞台発表などを行い、今年度は忍者をテーマに子ども向けの体験を増やしたため、親子連れの参加が増えました。

2-(4)-1 「桑員まちのファンクラブ」への支援

2003年4月の団体設立時から引き受けている同団体の事務局ですが、今期で15期がすぎました。また、まちのファンクラブの会員は52名になりました。参加しない自由があるまちのファンクラブですが、市民活動団体交流会への参加やきらきら基金の支援、諸団体の後援などを中心に活動し、メーリングリストなどを使って市民活動にかかわる情報の交換を行いました。

2011年10月の設立以来、「市民活動応援☆きらきら基金」の代表を輩出し、その活動を後援してきました。また、各地市民活動交流会での設定・展示では、3つの交流会（2-(3)-2で詳述）に参画しました。

2-(4)-2 「特定非営利活動法人 みえNPOネットワークセンター」への支援

三重県内各地で活動する11中間支援団体が会員となって2012年10月に設立登記した、特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンターは、2012年4月より三重県が設置する「みえ市民活動ボランティアセンター」の指定管理を受け、三重県内の市民活動の活動基盤を整えるための活動をしています。当会も、設立時からの会員としてその活動に参画し、活動を支えてきました。

通期で理事会对応・経営会議などの業務対応をした他、11月17日第2回三重NPOグランプリの地域1の開催協力団体として、さらに12月16日日本選にも運営側として参画しました。

2-(4)-3 各種講座への講師派遣

今年度講師派遣は実施しませんでした。

2-(4)-4 前掲以外の市民活動への支援

7月19日、くわなメディアライブにおいて、第3回休眠預金活用制度学習会を開催し、「認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会代表関口宏聡氏」と「公益財団法人佐賀未来創造基金理事長山田健一郎氏」による基調講演を行いました。関口氏は「休眠預金活用制度とNPO支援」と題して、地域の基金が持つべき視点について、分配団体に求められるのは単なる「分配」ではない、本業をしっかりとやっていく中で、現場の団体との関係性を強化していくことが大切だと話されました。また、それぞれの団体が「休眠預金依存」にならないために、「個人寄付」や「企業寄付」、今急速に広がりつつある「遺贈」と「相続財産寄付」などのファンドレイジングに取り組み、認定NPO法人としての優遇税制もフル活用して、遺産の地域還元に寄与することが必要であるということでした。

山田氏の講演では、「NPO・市民活動を活発にする地域の基金を考える」と題して、佐賀来創造基金の多彩な「助成プログラム」をご紹介頂きました。また、「寄付の参加」においても、スマホでできる支援、乾杯チャリティーなどの飲む支援、ふるさと納税などの多彩なファンドレイジングを行っていることや、「多彩な志士の参加メニュー」として、市民が自分の時間を使って基金の参加に関わることができるプログラムについてお話しして頂きました。

7月、環境学習サークルみえの事務局長より、イオン環境財団 第28回環境活動助成に対する推薦状を依頼され、認定特定非営利活動みえきた市民活動センター理事長名で推薦状を出しました。2月、助成先に選定されたと報告を受けました。

2-(4)-5 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営

桑名員弁地域で活躍する身近な市民活動を応援するため、きらきら基金プロジェクトを推進しました。原則月に1回の運営委員会を開催しました。これらをベースに、2019年2月9日に桑名市市民活動センターで行った第11回の助成事業では、103名が参加し、当日の寄附投票では65,200円(68口)のご寄附をいただきました。それまでのご寄附と併せて、9団体に166,800円の助成を行うことができました。また、4つのパートナー事業に合計120,000円の助成を行いました。企業の社会貢献活動の展示、発表もありました。(1-(2)-3で詳述)

また、「地域社会の維持や発展のために高校生の地域貢献活動を促進する」として今年度、新設された「高等学校地域貢献活動助成」に応募があった2校に40,000円の助成を7月に行い、この日は助成応募事業を中心に地域貢献活動の発表がありました。

今期はカエル・こぶた募金箱を50個設置いただきました。当日寄附もあわせて、178,683円のご寄附をいただき、前期繰越「使途限定寄附金」とあわせて、330,800円を助成しました。また、まちのかわらばんを4回発行しました(3-(6)-1で詳述)。これらに伴い団体訪問取材を行いホームページの団体情報を更新し、プロジェクト全体の概要報告書とかねて「まちのかわらばん2019年春特大号」は1500部を発行しました。

このプロジェクトの実施体制は、当会が設置した「きらきら基金運営委員会」が主催し、特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター、特定非営利活動法人 いなべ子ども活動支援センター、特定非営利活動法人 生ごみリサイクル思考の会が協働する形で共催しました。後援は、三重県、桑名市、いなべ市、東員町、木曽岬町、まちのファンクラブ、桑名市社会福祉協議会、いなべ市社会福祉協議会、東員町社会福祉協議会、木曽岬町社会福祉協議会。助成原資は皆様からのご寄附を充てさせていただきました。

3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

- (5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業
- (6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

★「まちのかわらばん」

2018年6月より2019年4月まで4回の発行、かわらばん(A4版2ページ 白黒)と、特大号(A4版32ページ4色カラー)を発行・配布・配信しました。発行部数はのべ7200部ほどになりました。

☆2019年4月号 1500部発行

まちのかわらばん2019年春特大号

「135団体の紹介・29の企業の社会貢献紹介」他

☆2019年4月1日号(第105号) 1900部発行

「第11回市民活動応援☆きらきら基金助成事業、第6回企業社会貢献発表の報告」他

☆2018年10月10日号(第104号) 1900部発行

「桑名・員弁の身近な市民活動を応援する

第 11 回きらきら基金助成事業、サンタの行進開催の案内」他

☆2018 年 6 月 1 日号(第 103 号) 1900 部発行

「市民活動応援☆きらきら基金シーズン 7

第 3 回休眠預金活用法学習会案内」他

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等

小規模の市民活動団体にとっては、たくさんの人たちに自分たちの活動を伝え、情報を共有し、サービスのご案内などを行うのに、インターネットメディアの活用ははずせません。当会ではさまざまなメーリングリストやブログを活用しました。

★みえきた市民活動センターホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

★日本財団 CANPAN ブログの「みえきたページ」 <http://blog.canpan.info/miekita/>

★日本財団 CANPAN ブログの「きらきらページ」 <http://blog.canpan.info/kirakiraboshi/>